

みてんか

まつさか市議会だより

vol.101
2024.9.1「みてんか」は電子
ブックやPDFでも
ご覧いただけます。

6月定例会	P 2
一般質問	P 7
第22回議会報告会	P 18





令和6年度

松阪市一般会計補正予算（第1号） など **13** 議案を可決

令和6年6月定例会は、6月13日から7月5日までの23日間の会期で開催され、初日には13議案が上程されました。

一般質問は6月21日、25日、27日の3日間、20人の議員により行われました。

また、6月19日には請願1件、発議1件、さらに最終日の7月5日には発議4件が上程され、合計19件の採決が行われ、審議の結果、原案どおり可決、承認、採択されました。



議員間討議のあった議案



議案
第63号

工事請負契約に係る変更契約の締結
（クラギ文化ホール大規模改修事業建設工事）

**全会一致
可決**



審議の過程で、説明が不十分であることを指摘したい。いきなり決定事項が出てくるのはおかしい。

既設の照明を使用して改修を行うとのことであるが、LEDはまだまだ新しい技術が次々と出てくるため、その点に関する議論が無く、不十分であると感じている。



照明の影響や、それを扱う人材のスキルと能力は非常に重要である。そのため、その人材をどのように育成していくかが課題となる。今回の判断は当初から完璧ではなかったかもしれないがより良い判断であったと感じている。

補正予算を議会がチェック！



討論のあった議案



議案
第57号

令和6年度松阪市国民健康保険事業
特別会計補正予算(第1号)

賛成多数
可決

反対討論



マイナンバーの取得は任意であるが、マイナンバーの取得を前提に、全ての市民に必須の健康保険証の廃止に向けた手続きをするための経費、追加の予算であるため反対する。

※賛成多数で可決されましたが、賛成討論はありませんでした。

議案
第64号

専決処分の承認について
(令和5年度松阪市一般会計補正予算(第15号))

賛成多数
承認

反対討論



ふるさと納税による寄附金のうち、1,950万円をみえ松阪マラソン応援基金に充当することを含む補正予算案について。令和5年度のマラソン応援基金は3億2,400万円となる予定であるが、基金の残高は8億円を超えている。市長と教育長の意向が強く反映されているが、この事業を継続するかどうかを検討する必要があるのではないか。

※賛成多数で可決されましたが、賛成討論はありませんでした。

環境福祉委員会



スマホアプリで健康づくり!

【健康診査事業費】

予算額 118万円

問/ ヘルスケアアプリの導入について、
高齢者向けの講習会の開催予定は。

答/ 機会を設け、実施していきたい。

問/ 目標人数は。また、クーポン費用は
20万円で足りるのか。

答/ 目標は1,000人。アプリのダウンロードにより先着1,000
人に200円分のクーポンが発行される予定である。



意見



ダウンロードだけで終わらないよう、追加補正も含め、健康づく
りの取り組みによってクーポンが発行されるような取り組みの検
討をしていただきたい。

文教経済委員会



クラギ文化ホール大規模改修事業建設工事

問/ 新たな工事請負契約とせず、変更契約と
した理由は。

答/ 工期の問題やDB方式での一括発注であり、
コスト面でも仮設等を作り直さないといけな
いなど同一業者のほうが有利と判断。

問/ 駐車場舗装、タイル部分のインターロッ
キング舗装への変更は業者からの提案
か。

答/ 要求水準書を踏まえた現場状況による工法変更であり、松阪市からの依頼である。

問/ これまでもDB方式で変更契約を行なわれている案件があるが原因と対策は。

答/ 要求水準書はコンサル業者に委託しているが水準書の中身や金銭面の精度をあげて
いく。

※DB方式（デザインビルド方式）…設計及び施行の両方を単一業者に一括して発注する方式



総務企画委員会



資材整備で防災対策

【コミュニティ助成事業補助金】

予算額 200万円

問/ 防災対策費で整備される資機材の内訳は。

答/ デジタル簡易無線機10台、大型炊き出し器1台、大型炊き出し用バーナー、炊き出し用アルミ鍋、ポータブル電源2台等である。



「再審法改正を求める意見書」に関する請願

問/ 再審法を改正すべき理由のうち、請願の別紙の意見書には記載されていないものは。

答/ 証拠開示の手続きの規定、弁護士に関する規定の整備などである。



再審法の速やかな改善はいかに人権、生命を守るかということにおいて日本社会に求められている課題であり、賛成する。

建設水道委員会



松阪市公共下水道条例の一部改正

問/ 今回の条例改正により、三重県内の市町の営業所に責任技術者を置いておけば、松阪市で営業登録できるのか。また、松阪市の営業所が他市において営業所登録できるのか。

答/ 松阪市において、営業所登録ができることになる。また、他市においても条例改正を行なっていれば営業所登録ができることになる。

登録



6月定例会の議決結果

塗りつぶしの●は、賛否が分かれた議案等です。議員の賛否内訳は下の表をご覧ください。過去の賛否内訳も議会ホームページから見ることができます。

check!! →



○は全会一致、●は賛成多数

議案番号	件名	審議結果
令和6年度補正予算	55 一般会計補正予算（第1号）	○
	56 競輪事業特別会計補正予算（第1号）	○
	57 国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	●
	64 専決処分の承認（令和5年度一般会計補正予算（第15号））	●
条例	58 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理	○
	59 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	○
	60 市立保育所及び小規模保育事業所条例の一部改正	○
	61 漁港管理条例の一部改正	○
	62 公共下水道条例の一部改正	○
	65 専決処分の承認（税条例の一部を改正する条例）	○
	66 専決処分の承認（都市計画税条例の一部を改正する条例）	○
	67 専決処分の承認（国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	○
その他	63 工事請負契約に係る変更契約の締結（クラギ文化ホール大規模改修事業建設工事）	○
発議	4 議会議員定数等に係る専門的知見の活用	○
	5 地方財政の充実・強化に関する意見書	○
	6 南勢志摩水道用水供給事業受水費の引下げ等に関する意見書	○
	7 防災・減災、国土強靱化対策の拡充を求める意見書	○
	8 再審法改正を求める意見書	○
請願	2 「再審法改正を求める意見書」に関する請願	○

表決がわかれた案件に対する各議員の賛否

議案番号	議員名	政友会								蒼水会					市民クラブ				公明党			所属しない議員 会派						
		中村 誠	松本 一孝	市野 幸男	田中 正浩	米倉 芳周	坂口 秀夫	堀端 脩	野呂 一男	山本 芳敬	森 遥香	野呂 一平	赤塚かおり	深田 龍	沖 和哉	濱口 高志	東村 佳子	吉川 篤博	橘 大介	楠谷さゆり	中島 清晴	小野 建二	奥出かよ子	松岡 恒雄	小川 朋子	殿村 峰代	西口 真理	海住 恒幸
57		○	○	欠	○	○	一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	×	×	×	×
64		○	○	欠	○	○	一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	×	○

議長 坂口秀夫は採決に加わりません。○は賛成した議員、×は賛成しなかった議員、欠は欠席した議員。

Q & A 一般質問



6月21日、25日、27日の3日間、20人の議員が市の執行部に対し、一般事務の執行状況や、将来に対する方針などについて、一人あたり50分（答弁時間含む）の時間制限の中で質問しました。

※ 一般質問のページの原稿は、本会議での発言を要約し、議員自身が作成したものをそのまま掲載しています。

※ QRからは、各議員の一般質問の動画をご覧ください。（別途通信料が発生します）

一般質問スケジュール

6/21	6/25	6/27
野呂一平	奥出かよ子	久松倫生
沖和哉	田中正浩	市野幸男
森遥香	西口真理	小川朋子
海住恒幸	殿村峰代	米倉芳周
橘大介	深田龍	堀端脩
小野建二	松岡恒雄	楠谷さゆり
東村佳子	吉川篤博	

蒼水会

のろ かずひら
野呂 一平 議員**“再定義” 一次救急の在り方を考える**

問 これからの一次救急医療の継続的な提供に向けてどのように考えているのか。

答 深夜帯の患者数は少ない状況であり県内で一次救急医療の深夜帯の診療を行っているのは本市のみであることから3基幹病院への深夜帯のワークインについて議論を行っている。また一次救急医療を担う地域の開業医の高齢化が進んでおり、今後の松阪地区における一次救急医療の維持も喫緊^{きつじん}の課題と捉えている。

意見 限りある財源と医療資源の適正利用を改めて認識し、これからの松阪市の未来へつなげていっていただきたい。

“再定義” 介護保険の在り方と考え方

問 無尽蔵に膨れ上がるだけの介護保険料を目の前にどのように考えているのか。

答 介護費がどんどん上がっていくのは良くない。大事なのは、いかに健康を保つかということである。高齢者の皆さん方が集まり、軽く体を動かすというふうなことができる環境をつくっていくことが非常に重要だ。

意見 市民一丸となって健康に向かってまい進する。そうしたら介護保険料も安くなっちゃうぞ！そんなポジティブな未来をみんな描いていくのはいかがでしょうか。

蒼水会

おき かずや
沖 和哉 議員**中部台運動公園を子連れや車いすでも楽しめる改修を！**

問 トイレが暗く、天井の電球もない。オムツ交換台やオストメイトもなく不便。オムツ交換のできる休憩所は月曜日には閉鎖している。改修の予定はないのか。

答 照明の追加や照明時間の延長を検討する。オムツ台やオストメイト等は、ただちに改善できるところから検討していく。

問 芝生広場は立派だが、入り口が封鎖されており、ベビーカーや車いすで入れない。遊具エリアにも行けない。行き来できるような通路を設けることを検討できないか。

答 使い勝手の悪さは承知している。利便性と芝生保護の両面を研究していきたい。

問 Park-PFI の検討も含め、再定義を。

答 PFI は改修が終了してから考える。まずは、さまざまな改修計画をつくり、中部台公園の基本デザインを示していく。

バスで稼ぐ、本気の広告事業で公共交通の財源確保を！

問 鈴の音バス等への協賛広告が目にとまりにくく、協賛金も10年で1,000万円減少した。車体のラッピング広告であれば目立つし、広告効果も高い。車内の動画広告やデジタルサイネージなど、財源確保策を突き詰めていただきたいがどうか。

答 協賛企業の御厚志を広く伝えるために、車体の一部へのラッピング広告や、デジタルサイネージなどを有効活用して、インパクトある協賛金募集をしていきたい。

蒼水会

もり はるか
森 遥香 議員

子どもと社会の「見守り人材不足」を 防犯カメラで解消

問 核家族化、共働き世帯の増加、少子高齢化で子どもや社会全体での見守りが不足している。課題解決のため、市主導で防犯カメラの設置を行っては。

答 行政主導での設置は検討していない。

意見 自治会による防犯カメラ設置補助金にカメラのスペック規定がない。県防犯カメラガイドライン記載の事件、事故の解決の手掛かりとなるスペックが必要である。補助金制度の拡充、時代の求める防犯対策の調査研究をお願いしたい。

災害時の防災DXや、 年齢・性別を問わない性被害防止

問 昨今は大規模災害発生時に ISUT（災害時情報集約支援チーム）が派遣され、自衛隊、消防、警察、行政等の情報を一つのプラットフォームで共有している。平時より他機関との情報共有がスムーズに行えるよう研究を進めていただきたい。

被災地では5歳未満～60代以上、男女共に避性被害が確認されている。年齢や性別のバイアスをかけない避難所運営勉強会を開催してはどうか。

答 性別や年齢を問わず幅広い意見を取り入れることが大切。周知に努める。

その他の質問

- 生態系を守る！
条件付特定外来生物は身近にいる

会派に所属
しない議員かいじゅう つねゆき
海住 恒幸 議員

選定療養費の目的が 救急車出動抑制なら違法では？

問 選定療養費の問題は、あたかも救急車を呼ぶ側へのペナルティ（罰金）のごとく設定されている。本来的に一次二次救急の体制を作っていなければならない行政の責任を患者の側に回すようなもの。救急車の出動回数の抑制を目的に選定療養費を設定するのは違法性があるのではないか。違法性とは法が想定する目的とは異なる目的に権限を行使すること。法が想定する目的は、患者の状況に応じた適切な医療機関を紹介すること、保険医療機関の機能の分担、業務の連携を図ること。これが法の想定する目的であるにもかかわらず、市は救急車の利用課題への対応に当たっている。法の趣旨と乖離しているとは考えないのか。

答 違法はない。以上である。

意見 入院に当たらない軽症者でも大半は本人にとっては救急。夜中、一次救急の医療機関はない。その空白を埋めるのが大事。だから輪番（救急輪番病院）には一次救急の方が来てもやむを得ない。「一次救急の患者なのに二次に来るな」と選定療養費を取るのではなく一次救急にふさわしい病院に搬送される体制を整えることが行政と医療機関の連携だ。患者に失政のツケを回すのではなく、行政がやるべきことをやる。それが法の定めた選定療養費の趣旨。（市は）趣旨違いなことをして、違法性の認識がない。

市民クラブ



たちばなだいすけ

橘 大介 議員



耐震シェルター設置補助金を求める

問 県では耐震補強の補助拡充の動きがあり、5,000万円超の関係費を計上予定。耐震シェルターの設置に対して、最大100万円の補助が行われる。補助制度があるのは県内10市町で既に制度を導入している。木造住宅の耐震補強の制度の拡充が必要と考える。県と足並みを合わせて検討してみてもどうか。

答 住宅の耐震化工事費用に比べ安価であり、寝室などへの設置により一定の効果が見込まれる。三重県の事業実施状況を踏まえ、検討していく。

発熱後の保育園登園は可能か、 そして病児保育の対応は

問 ほけんだよりには、感染症が2類に分類された場合の対応が記載されている。

現在感染症は5類に分類されているため、この文言は不要ではないか。

答 改めて、保育所における感染症対策ガイドライン2018年改正版を基に、文言の見直しを図っていききたい。

問 病児保育の手続が難しいと聞く。手続きの簡素化をしてみてもどうか。

答 市では窓口の諸手続についてオンライン化を進めているところであり、病児病後児の手続等についてもオンライン化できるように検討していききたい。

その他の質問

・未来の地域公共交通の在り方を考える

公明党



おの けんじ

小野 建二 議員



視覚障がい者の方への 日常生活用具補助の充実を!

問 視覚障害者用活字文章読上げ装置の補助は、現在2級以上の方が対象だが、読書バリアフリー法にも照らし合わせる中で、3級の方、4級の方まで9万9,800円の補助枠拡充を提案するが、いかがか。

答 今後も障がいのある方が安心して社会生活を送ることができるよう、幅広い観点から情報収集と研究を行っていく。

大地震発災に備え、 感震ブレーカー等の設置の普及を!

問 地震において、火災の原因の約6割が電気関連の火災であったと言われている。自動でブレーカー電源を落としてくれる感震ブレーカー等の設置等にかかる費用の一部の補助を提案しますが、いかがか。

答 その効果が期待されると認識し、他市の実施状況を含め、研究してまいりたい。

ゴミ袋の表記を変更し、 ゴミのより良い分別への取組を!

問 ゴミの適正な分別につなげるため、燃えるゴミ専用という表記から、燃やしてもよいゴミや、燃やすしかないゴミなど変更し、燃やしてもよいゴミの種別も印刷するなど、変更の提案をするが、いかがか。

答 ゴミ袋の表記の取り組みにつき、他市における効果などを伺いながら、市民の分別の意識を高める一助となるような名称の在り方について検討を進めてまいりたい。

市民クラブ



ひがしむら よしこ
東村 佳子 議員



はにわ 船形埴輪と

松阪市文化芸術の振興に関すること

問 船形埴輪の事と国宝指定の経緯は。

答 宝塚1号墳から平成12年に全国初となる船上に太刀飾りがついた国内最大級全長140cm高さ94cmの船形埴輪等が発見され、これらを保存、展示する施設を文化財センターにはにわ館として開館。平成18年に国指定重要文化財指定、令和6年3月、出土埴輪計278点の国宝指定の答申がなされた。

問 市役所前植栽に船形埴輪等のレプリカを展示している「はにわづくりの会」の活動との連携は。

答 市民有志により平成13年設立。実物大の埴輪を制作し宝塚古墳公園への設置、入れ替えの作業、小学校への埴輪づくりの出前教室、文化財センターでの体験教室を市の委託事業として連携している。

問 伝統文化や伝統工芸の未来への承継や担い手の育成の把握は。

答 松阪固有の歴史文化を継承して発展させることはシビックプライドの醸成、有力な観光資源となりうるが、多様な選択肢、人口減少や少子高齢化により一長一短、簡単に解決できるものでない。

問 10年後を見据えた市の姿勢は。

答 この地しかできない体験、目的プラスアルファがあって食も楽しんでもらう。文化行政のさまざまな仕掛けを担う皆さんが主役でさまざまなアイデアをいただきながらサポートできる体制を作っていく。

公明党



おくで こ
奥出 かよ子 議員



24 時間利用可能な

屋外設置のAED を!

問 市民の命を守るため、24時間利用可能なAEDの設置のご見解は。

答 AEDの屋外設置については、可能な限り24時間誰もが使用できることが望ましく、屋外設置が有効な施設か、また他市の事例も含めて調査研究していく。

問 誰でも24時間使えるようにしていくことへの市長のご見解は。

答 効果的な場所を考えながら、他市の状況も聞きながら考えていく。



能登半島地震の大事な教訓を

生かした防災対策を!

問 災害に備えて携帯トイレの備蓄計画の見直しと方針は。

答 下水道直結式のトイレを軸に対応を備えている。汚物凝固剤セットを分散備蓄している。トイレ対策を引き続き努めていく。

意見 トイレは命に関わる問題、備蓄を増やしていただきたい。

問 大人用のおむつはどれぐらいの備蓄か。

答 1,152枚備蓄している。

意見 3日間耐えられるように、増やして欲しい。

問 水の備蓄の現状と、市の方針は。

答 単純計算で想定避難者1人当たり約5.6リットルの備蓄水量。市民の皆さんに飲用水の家庭内備蓄をお願いしたい。

政友会

たなか まさひろ
田中 正浩 議員市と松阪済生会病院の
不透明な関係を市民に説明すべき

問 松阪市民病院に指定管理者で入ってくる済生会病院の駐車場と病院の間の市道を済生会病院に譲渡し、病院玄関側の土地と交換する計画はもう実行されたか。

答 令和5年2月定例会で市道認定を廃止、病院の建設工事工程とすり合わせを行い土地交換契約を締結する。

問 市道認定を取り消して済生会に土地を交換してもらう。なぜ病院に購入してもらえないか。

答 道路用地の交換、それ相当の事由がある場合に限り交換可能、道路の必要性、地域の合意形成、道路利用者の影響を十分検討しながら慎重に判断していく。

問 病院は市道認定を取り消し、病院に譲渡してもらい、病院の玄関側を少し市道として返せばよいと安易に考えてないか。地域住民に本当に説明しているか。

答 地域の合意形成というのは、病院側のほうから地域に説明をしている。今回の病院建設についても十分に検討しながら交換する経緯になった。

問 説明会ですがいつどのような説明会をしたのか。

答 詳細な日程等は把握していない。

意見 この土地交換、病院側の入り口が広がる。病院にとってプラスになるが地域住民にしっかりと説明されているか。松阪市民が聞いてもおかしいと思うのであれば考え方を变えるべき。

会派に所属
しない議員にしぐち まり
西口 真理 議員「みえ松阪マラソン」への
中学生ボランティアは動員か？

問 本来自主的、選択的な参加であるべきボランティアが、授業という名目で強制的な動員になっていないか。

答 探究的学習、キャリア教育として教育課程に位置づけており、数学や道徳と同様に参加は当然求めていくべきもの。

問 授業である以上、評価の対象となり、欠席扱いとなる。いろいろな理由で参加できない生徒もいる。受験前の受験生の保護者から、なぜこの時期にという疑問の声も聞く。選択肢があるべきではないか。

答 達成感、自己有用感を得る場として、受験に向かう自信につながっている。

問 荒天の場合、参加取りやめの判断は誰ができるのか。中学生独自の参加基準があっても然るべきではないか。

答 最終的には学校長が判断いただく。

意見 全てが学校判断では、先生方への負担が重過ぎる。教育委員会のマラソンにかける「熱」があまりにも熱いため、「圧」になっていないかすごく心配。

選定療養費を徴収する、しないは
ブラックボックスか？

問 選定療養費を徴収する基準が曖昧で、病院間でバラバラのままでいいのか。

答 医師が緊急性があると判断した場合には徴収の対象外になる。線を引くのは難しく、診察した医師が総合的に判断すると確認している。

会派に所属
しない議員とのむら みねよ
殿村 峰代 議員

食料自給率向上！庁舎連携で 100%地場産食材の給食を

問 給食に地場産食材の使用は第一か。
答 地場産物は安心安全なもので、地産地消にもさまざまなメリットがあり、優先した調達に努めている。食育にも生きた教材として地域への理解関心を深めるもの。

問 地場産物の調達状況は。

答 米はすべて松阪産。小麦は県内産30%。牛乳はすべて県内産。肉類は国産。松阪、県、国の順に地場産を優先して食材調達しているが、松阪産は割合が低い。近年は物価高騰で、限られた給食費で安心して安価な安定した食材の調達を行っている。

問 松阪として農業の振興とともに学校給食の食材提供の支援を考えているか。

答 直接支援は考えていない。しかし、販売、購入をしたい農作物の情報を得た場合は出荷の情報を有するJAなどにも情報を展開したい。

意見 中小農家への支援など国へも声を出し、連携して安心できる給食の提供を。

ジェンダー問題 職員間の ハラスメントをなくすために

問 ジェンダーギャップ118位の日本。経済分野で47都道府県中46位の三重県。女性の不利益がまだ多い状況。ハラスメントなどの対策での離職予防は。

答 早期離職は例年10件以上。職場を通じてガイドラインを紹介している。

蒼水会

ふかた りゅう
深田 龍 議員

小学校の再編活性化に連動する 放課後児童クラブの在り方

問 放課後児童クラブを現状通りの運営を原則として調整するとしたのはなぜか。

答 利用者を中心に現状維持を希望される意見が多数あった。それぞれ運営主体が異なるが、今後設置する準備部会で詳細は決める。

問 令和8年度以降、地元のクラブにしか通えないのか。

答 詳細については調整していく。

問 放課後児童クラブについても将来的な再編活性化は必要だと考えるが、いかがか。

答 子どもたちのことを中心に最優先して、利用者・地域の方々と一緒になって考えていくことが重要であると認識している。

意見 行政経営的な発想だが、ランニングコストの意識を持ちながら進めて欲しい。

国宝指定！ 宝塚古墳の整備をどう考えるか

問 宝塚古墳について、学習効果の高い現場を見に行くことが今後増える可能性が高まる。大型バスを受け入れられるのかなど調査をして欲しいが、いかがか。

答 もう少し安全面も配慮して見直すことや、よく見られるような形にしていくことなど整備の話は考えていくところ。

公明党



まつおか 松岡 恒雄 議員



“災害関連死”の認定に必要な 審査会の設置

問 災害による負傷の悪化や避難生活における身体的負担による疾病での死亡は災害関連死と定義され、認定に必要な審査会の条例があるのは、県内3つの町にとどまり整備されていない。有識者による審査会で認められた場合、遺族に最大500万円の弔慰金が支給されるが、本市の見解を確認したい。

答 審査会設置については優先すべき案件であると考えている。

問 審査会の根拠はどうなっているか。

答 審査会の根拠条例となる松阪市災害弔慰金の支給等に関する条例において、災害関連死を判断する審査会等の設置に関しては定めていない。

問 災害関連死の認定に必要な審査会の設置について、どのようにされていくか。

答 災害関連死による災害弔慰金の支給対応について、迅速かつ公平に行える体制を整えるため、審査会の設置に向けて松阪市災害弔慰金の支給等に関する条例の改正を検討している。

問 審査会設置の方向のスケジュールは。

答 早期に改正を目指していく。

意見 災害関連死を出さないことが最も大事であり、災害が実際に起きたとき、周到な準備・対応を行っていただきたい。

その他の質問

- ・労働者協同組合法の積極的な活用
- ・非正規公務員の賃上げの遡及改正

市民クラブ



よしかわ 吉川 篤博 議員



ハラスメント防止の対策と条例の制定

問 ハラスメント防止対策の現状と課題は。

答 職員向けの職場のハラスメント防止に関するガイドラインを制定し、管理職向けの研修を年1回実施している。

問 今後、「ハラスメント防止条例」の制定等は考えているか。

答 三重県知事が条理制定を進めていく答弁を示されたことから、県の動向を注視していきたい。



教職員の働き方改革は進んでいるのか

問 教職員の時間外勤務の削減に向けた取り組みの現状と今後の取り組みは。

答 働き方改革の再定義を行い、相談員や専門員を延べ179人配置し、教育課題に応じて教職員と連携した取り組みを進めている教職員が職務に従事できるよう環境整備に努める。

問 教職員をサポートする体制は。

答 相談員の先生を雇い、教職員に寄り添い、またAIを活用して子どもたちや教職員のメンタルヘルスやいじめの起こる要因を把握できるシステムをつくる。

意見 教職員の働き方改革は待ったなし。松阪市の子どもたちのためにも、空調設備の設置や給食費の完全無償化など、市長や教育長の思いきった改革が必要。

会派に所属
しない議員ひさまつ みちお
久松 倫生 議員

これでいいのか、 松阪市民病院の指定管理のすすめ方

問 指定管理の条例を審議した3月8日の夜の調整会議で、済生会松阪病院と松阪中央病院の方向がはっきり示された。このやり方そのものがいかなものか。

市民に迷惑をかけない、職員の不安を払拭できるようにと言っているが応えられるか。対等に対応できる医療政策部署を設けよとなっているができるのか。

答 何も決まっていない、協議をしていないのでどうこうとは申し上げられない。

市民の不安をなくす救急医療体制を。 選定療養費の課題

問 救急医療と選定療養費で3月号「広報」で書かれていた「徴収」の文言が4月回覧、5月広報でなくなった。なぜか。

答 ご意見をいただく中で表現を変えた。

問 まずかったから、表現を変えた。7,700円は市民にとっては物すごい重荷、強烈な響きになっている。

救急搬送しなければならないのに選定療養費がかかってくるからやめとくわといわれるとブレーキになる。一方、いわゆる不要不急が減ればという、これが救急の実際の感覚だと思う。

入院に至らない軽症者と不要不急とどう区別するのか、医療制度の中で探求していったらどうかと思う。

答 議員いわれることは十分理解するが、それができるんらもうやっている。

政友会

いちの ゆきお
市野 幸男 議員

どうする！住民自治協議会の 区域と小学校区の不一致

問 小学校区と住民自治協議会との区域が違ふところは何か所あるか。また、学校再編が行われる地区では、住民自治協議会へは、どのような影響があるのか。

答 住民自治協議会で二つ以上の小学校区にあるのは、9つある。現状、地域課題の共有や住民の参画行動を促進しやすい仕組みも構築されており、学校再編後に小学校区単位の事業への実施は、協議が必要と考える。

問 住民自治協議会はおおむね小学校区で区域が決まっている。小学校区と地域が異なるため、同じ小学校に通いながら参加できない地域行事もあるが、市として、どのように考えるのか。



答 11の地域に区割りしたブロックで構成し、地域課題の協議をしていただいている。小学校区域との統一は難しいと考えることから、近隣の協議会同士で調整していただくことになる。

問 逆に住民自治協議会が重複している場合のメリットはあるのか。

答 校区が広がったことによって、生まれる教育資源は大きく、再編活性化することにより小学校の文化として成立していく上では非常に大きなメリットである。協議会間の情報共有や協力関係が強まり、質の高い地域づくりの進展が期待できる。

会派に所属
しない議員おがわ ともこ
小川 朋子 議員

過去最大の健康被害認定数となった 新型コロナワクチン

問 3年前、国が、県が、市が一斉にワクチン接種を推進したが、ワクチンの積極的な推奨に、議会内外で疑問を投げかけてきた。令和5年度が終了し、国会でも明らかにされた事実について、情報を共有し、今後の市政の在り方について質問する。新型コロナウイルス予防接種健康被害給付費負担金の令和5年度当初予算3.6億円が不足し、補正予算で約400億円が追加された。これは、国の想定の110倍の健康被害が出ていると考えられる。そこで、過去48年間に本市で発生した予防接種における健康被害件数、新型コロナワクチンによる健康被害件数は。

答 新型コロナワクチン接種に係る健康被害認定件数は松阪市14件、三重県125件。うち、死亡認定件数は松阪市3件、三重県15件。

意見 健康被害は国の想定の110倍。過去48年間で一人の死亡者も出ていなかった本市だが、新型コロナワクチンで3件の死亡認定があった。健康被害の相談をどこにしたらいいのか、ホームページでは探しづらい状態である。健康被害に遭われている方にもっと寄り添い、踏み込んだ支援が必要である。過去最大の予防接種における健康被害が起きている今、ワンストップの相談窓口を開設するべき。

国に忖度することなく、市民ファーストで市政運営を！

政友会

よねくら よしちか
米倉 芳周 議員

放課後児童クラブの新しい公民連携

問 この度、「松阪市教育改革推進会議」より放課後児童クラブの運営について、提案書が出された。クラブの望まれる体制として、①「市が主体となり、責任をもって事業を推進していく」②「運営実施者として、ノウハウをもつ民間事業者の指定管理を検討し新しい公民連携の下、事業を強力に推進していく」となっているが、どのような機関へ提言されるのか。また、今後のプロセスは。

答 指定管理者制度による運営をしていただける社会福祉法人や民間事業者について、公民連携のかたちを説明しながら意見交換を行っている。県からは、この公助による新しいクラブ運営の提言には、評価もいただいている。また、全クラブへの説明会は、8月頃から実施の予定である。今年度は、クラブの運営基準を策定し、指定管理者審査選定委員会にて協議し、令和8年4月から順次、指定管理によるクラブ運営に切り替えたい。

問 運営方法が確立しても支援員の質の向上、待遇面の改善も重要と考えるが、ご意見は。

答 子どもの利益を守り、安全・安心な居場所の提供を理念とし、運営基準、支援員確保の制度を考える。関係機関の協力を頂きながら、提言の趣旨の実現に向けスピード感をもって対応していく。

聞いてんか!

言うてんか!

第22回 議会 報告会



第22回議会報告会は現地での開催と動画配信を行いました。
会場ごとにテーマを設け、意見交換会を実施しました。

聞いてんか! 言うてんか!



第22回松阪市議会 議会報告会

新しく開館した
松阪公民館
にて全日開催!
※各会90分程度

第1部 議会報告(全会場共通)
2月定例会の審議内容の報告

第2部 意見交換(委員会ごとにテーマが異なります)
ワークショップ形式で各テーマについて意見交換



会場

松阪公民館

講座室1 松阪市船江町1392-27
(イオンタウン松阪船江内)

総務企画委員会

テーマ

『新たな防災対策』

5月13日(月)午後7時～

環境福祉委員会

テーマ

『還暦を迎えてからの心配ごと』

5月15日(水)午前10時～

文教経済委員会

テーマ

『みんなで考える
コミュニティスクール!』

5月17日(金)午後7時～

建設水道委員会

テーマ

『市街化調整区域に
おける既存集落活性化』

5月20日(月)午後7時～

5/13 総務企画



5/15 環境福祉



5/17 文教経済



5/20 建設水道



第22回議会報告会アンケートから

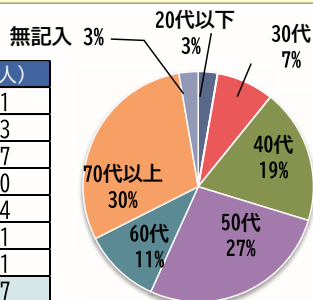


Matsusaka City

- 回答者総数：37人
(回収率88.1%)
- 配布人数：42人
(平均10.5人/1会場)

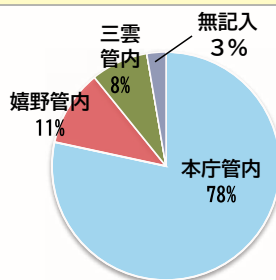
■年 齢

年 齢	人数 (人)
20代以下	1
30代	3
40代	7
50代	10
60代	4
70代以上	11
無記入	1
合 計	37

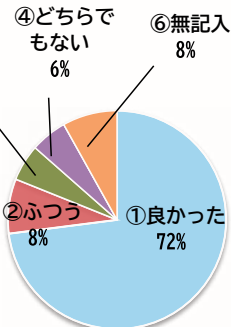


■住 所

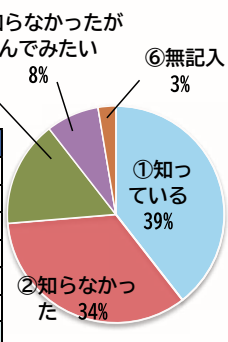
住 所	人数 (人)
本庁管内	29
嬉野管内	4
三雲管内	3
飯南管内	0
飯高管内	0
市 外	0
無記入	1
合 計	37

■【第二部】
意見交換会について (問4)

設 問	人数 (人)
①良かった	27
②ふつう	3
③良くなかった	2
④どちらでもない	2
⑤その他	0
⑥無記入	3
合 計	37

■議会のトリセツに
ついて (問6)

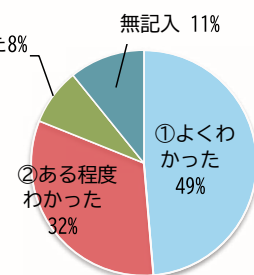
設 問	人数 (人)
①知っている	15
②知らなかった	13
③読んだことがある	6
④知らなかったが読んでみたい	3
⑤その他	0
⑥無記入	1
合 計	38



■報告内容について (問1)

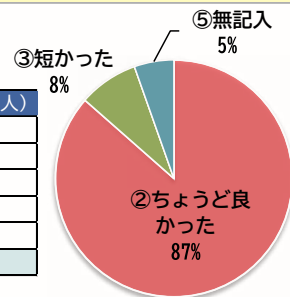
③あまりわからなかった8%

設 問	人数 (人)
①よくわかった	18
②ある程度わかった	12
③あまりわからなかった	3
④全くわからなかった	0
⑤無記入	4
合 計	37



■説明時間について (問2)

設 問	人数 (人)
①長かった	0
②ちょうど良かった	32
③短かった	3
④その他	0
⑤無記入	2
合 計	37

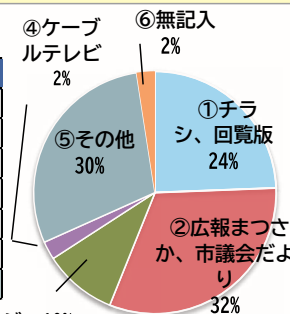


■周知について (問3)

設 問	人数 (人)
①チラシ、回覧版	10
②広報まつさか、市議会だより	13
③市議会ホームページ	4
④ケーブルテレビ	1
⑤その他	12
⑥無記入	1
合 計	41

(複数回答)

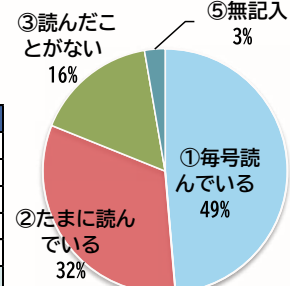
③市議会ホームページ 10%



【その他の意見】CS, お誘い、市議員さんの案内配付、知人から

■市議会だより
「みてんか」について (問5)

設 問	人数 (人)
①毎号読んでいる	18
②たまに読んでいる	12
③読んだことがない	6
④その他	0
⑤無記入	1
合 計	37

市長に議会報告会の
報告を行いました。

広報広聴委員長、正副議長は第22回議会報告会について竹上市長を訪れ、結果の報告を行いました。
今後も松阪市議会として、より市民の声を聞くための工夫を行い、議会報告会を行っていきます。

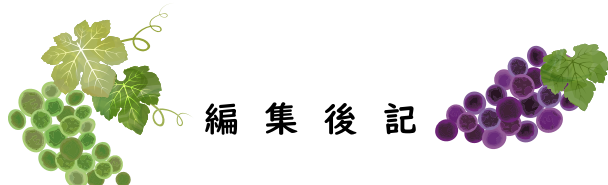


令和6年11月定例会の開催日程（予定）

会期
22日間

11/8	金	議会運営委員会	28	木	本会議（一般質問③）
			29	金	本会議（一般質問④）
18	月	本会議（議案上程・提案説明）	30	土	
19	火		12/1	日	
20	水		2	月	委員会（環境福祉・文教経済）
21	木		3	火	委員会（総務企画・建設水道）
22	金	本会議（議案質疑・委員会付託）	4	水	
23	土		5	木	
24	日		6	金	
25	月		7	土	
26	火	本会議（一般質問①）	8	日	
27	水	本会議（一般質問②）	9	月	本会議（議決）

※9月定例会の日程は、みてんか第100号をご覧ください。



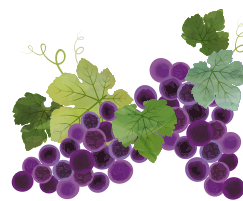
編集後記

現在の編集委員で「みてんか」をお届けするようになって、はや一年が経ちました。

みなさんに見ていただける、読んでいただける議会報告誌にしたいと試行錯誤を重ねていますが、まだまだ十分とは言えません。負託された事柄が十分果たしているか、お知らせする責務が私たちにはありますが、わかりやすい言葉や工夫がなされているか、毎回字数の壁などと闘いながら編集しています。でも袋小路に入ってしまうと、なかなか広く見られなくなってしまうので、時々深呼吸をして・・・。

さあ、また新しいステージに。街中で見かけたらどうぞ声をかけてくださいませ。一年間ありがとうございました。これからもよろしくお願いいたします。

広報広聴委員会 委員長 殿村 峰代



9月号の表紙

今月号の表紙は
飯南高校美術部の作品です。

広報広聴委員



この写真は松阪市役所の埴輪レプリカ前で撮影しました。

（左から）
市野 幸男
坂口 秀夫
◎委員長
殿村 峰代
○副委員長
濱口 高志
橋 大介
海住 恒幸
奥出かよ子
.....
森 遥香